

(表-1) 疾患系別の初発患者数の推移

ICD 分類/部位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	構成比
(C00-C14)	17,506	17,994	18,483	18,972	19,462	19,953	20,444	20,936	1.99
口唇,口腔,咽頭	100	102.79	105.58	108.37	111.17	113.98	116.78	119.59	
(C15-C26)	393,147	395,377	397,606	399,835	402,062	404,292	406,521	408,748	44.73
消化器	100	100.57	101.13	101.70	102.27	102.83	103.40	103.97	
(C30-C39)	119,510	122,352	125,192	128,035	130,877	133,719	136,559	139,400	13.60
呼吸器	100	102.38	104.75	107.13	109.51	111.89	114.27	116.64	
(C40-C41)	868	834	800	765	731	696	661	625	0.10
骨,関節軟骨	100	96.08	92.17	88.13	84.22	80.18	76.15	72.00	
(C43-C44)	3,638	3,752	3,867	3,982	4,097	4,212	4,327	4,443	0.41
皮膚黒色腫等	100	103.13	106.29	109.46	112.62	115.78	118.94	122.11	
(C45-C49)	7,529	7,804	8,080	8,356	8,632	8,909	9,186	9,463	0.86
中皮,軟部組織	100	103.65	107.32	110.98	114.64	118.30	121.97	125.71	
(C50)乳房	100	102.43	104.87	107.31	109.75	112.19	114.63	117.07	
(C51-C58)	61,147	61,633	62,119	62,605	63,091	63,577	64,063	64,549	6.16
女性生殖器	100	101.13	101.95	102.77	103.60	104.42	105.25	106.07	
(C60-C63)	90,900	98,107	101,710	105,317	108,924	112,531	116,138	119,745	8.70
男性生殖器	100	109.42	114.13	118.85	123.56	128.27	132.98	137.69	
(C64-C68)	77,044	79,463	81,886	84,308	86,734	89,160	91,591	94,017	8.49
腎尿路全体	100	103.24	106.48	109.73	112.97	116.22	119.47	122.73	
(C69-C72)	4,793	4,905	5,017	5,129	5,241	5,353	5,465	5,578	0.55
眼,脳,中枢神経	100	102.34	104.67	107.01	109.35	111.68	114.02	116.38	
(C73-C75)	4,699	4,793	4,887	4,981	5,076	5,170	5,264	5,358	0.53
甲状腺,内分泌	100	102.00	104.00	106.00	108.02	110.02	112.02	114.02	
(C76-C80)	18,204	18,446	18,687	18,929	19,170	19,410	19,651	19,891	2.07
部位不明確等	100	101.33	102.65	103.98	105.31	106.62	107.95	109.27	
(C81-C96)	48,338	49,562	50,785	52,008	53,231	54,454	55,678	56,900	5.50
リンパ,造血	100	102.53	105.06	107.59	110.12	112.65	115.18	117.71	
(C97)	1,273	1,266	1,258	1,251	1,243	1,235	1,227	1,219	0.14
独立多部位	100	99.45	98.82	98.27	97.64	97.01	96.39	95.76	
(C00-C97)	878,992	894,911	910,829	926,756	942,681	958,615	974,547	990,485	100
悪性新生物	100	101.81	103.62	105.43	107.25	109.06	110.87	112.68	

◇ 各部位の上段は初発患者数(単位:人)、下段は2013年を「100」とした場合の伸び率(単位:%)

◇ 構成比は2013年悪性新生物全体の患者数を100とした場合の各部位の比率(単位:%)

◇ 各部位(ICD分類)の具体的内容については(表-1付表)を参照

※全生存患者数の内容見本はホームページ(URL <http://www.medical-ri.com/>)の英語版内容見本を参照して下さい。

01. 食道癌

1 Summary

5年生存率	36.2% (2001年)
初発患者数	19,314人 (2013年)
全生存患者数	56,900人 (2013年)

食道癌の初発患者数は2013年(弊社推計)で1万9千人、全生存患者数は5万7千人である。将来(弊社推計2020年)は初発患者数2万人、全生存患者数6万人(対2013年7.8%の増加)となることが予想される。増加の程度は小幅であり、漸増傾向を示している。

食道癌は特徴的な臨床症状があまりないため、早期発見が少ない。また腺癌が中心の胃癌・大腸癌と異なり扁平上皮癌が多いため、比較的進行が早い傾向をみせる²⁴⁾。こうした背景から、食道癌は早期癌の割合が少ない。また、消化器癌の中でも食道癌は高齢者に多く発生すること、胃癌、頭頸部癌など周辺臓器との重複癌が多いなど、手術で困難な割合が多く、そのため予後(5年生存率)も36.2%(確定年2001年)にとどまっている。

しかも、消化器系の癌では治療の基本は手術である。食道癌も手術基本であっても、その施行率は必ずしも高くない。病態により化学療法(術前、術後)の使用(術前、術後)の適応である。

手術施行率は、食道癌手術の難しさが伺われる。一方、放射線や化学療法に感受性が高いため、化学・放射線療法も病態により多用されている。切除不能例に限らず、最近では手術可能なstage Iにおいて手術に匹敵する治療成績も報告されている。化学・放射線療法の施行率は日本食道学会の登録調査では33.1%であるが、本登録調査は外科症例を中心に症例が集積されていること、しかも手術に伴う化学・放射線療法(術前、術後)は含まれていないため、食道癌全体における実際の施行率はもっと高いと考えられるが、今後その点についてのデータ集積と明確な解析を期待したい。

2 統計データの現状

食道癌の生存率について多施設による調査は、2つ存在する。ひとつは日本食道学会による全国登録調査である。この登録調査は日本食道学会の前身である日本食道疾患研究会により1976年から開始され、第1号の報告書が発刊されている。その後継続的に調査結果が公表されていたが、2003年5月公布の個人情報保護法令により、

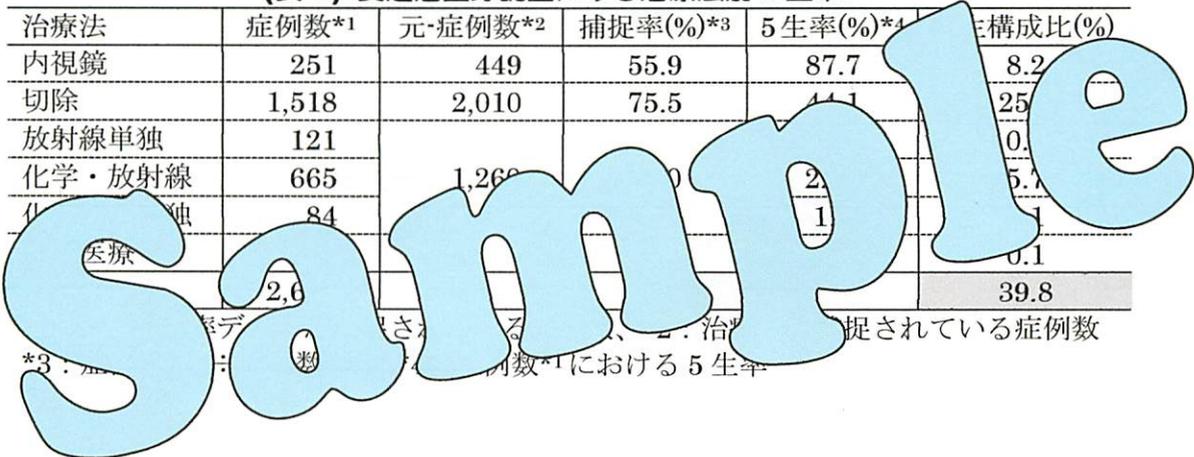
大きく反映され、逆に捕捉率の低いデータ(ここでは内視鏡例)の影響は小さくなる。とくに、切除は1,518例と全症例の半分強を占めるほど症例数も多いため、全体の5年生存率に与える影響はその分だけ大きくなる。一方、内視鏡はstage0を対象とするため、その適応症例数は251例と全体の1割弱と少なく、捕捉率が低く(55.9%)でも、全体の5年生存率に与える影響はそれほど大きくはない。

いずれにせよ、治療法により捕捉率が異なる状況は、厳密な意味で、食道癌全体の5年生存率を反映しているとはいえない面がある。今後、5年生存率のデータに関しても、症例数の集積が進み、全体の治療成績を反映するような状況になることを期待したい。

(表-1) 食道癌登録調査にみる治療法別5生率¹³⁾

治療法	症例数*1	元・症例数*2	捕捉率(%)*3	5生率(%)*4	構成比(%)
内視鏡	251	449	55.9	87.7	8.2
切除	1,518	2,010	75.5	44.1	25.7
放射線単独	121				0.1
化学・放射線	665	1,260	50.0	29.2	15.7
化学単独	84			1.1	0.1
治療	2,673				39.8

*1:登録調査の対象症例数
*2:登録調査の対象症例数と、治療法別データに属している症例数の合計
*3:登録調査の対象症例数に対する捕捉されている症例数の割合
*4:登録調査の対象症例数に対する5年生存率



もうひとつの5年生存率に関するデータは、全がん協(全国がん(成人病)センター協議会)加盟施設(29施設、1998~2002年症例)¹⁴⁾であり、それによると食道癌全体の5年生存率(実測生存率)は33.9%である(表-2)。全がん協のデータには治療法の区別なく、全ての症例の治療成績が発表されている。

(表-2) 全がん協加盟施設の5年生存率¹⁴⁾

	全体	stageI	stageII	stageIII	stageIV	不明
症例数(人)	4,043	927	774	1,065	872	405
構成比(%)	100	22.93	19.14	26.34	21.57	10.02
5生率(%)	33.9	70.0	39.2	19.7	9.2	—

登録調査¹³⁾は対象年2002年、対象施設222、症例数2,673例、全がん協¹⁴⁾は対象年1998~2002年、対象施設29、症例数4,043例である。いずれも数多くの症例を集積したデータであるが、前者は前述した問題(5生率データと治療法データの症例数の差異)があり、後者は各地のがんセンターを中心とした29施設のデータのため、対象施設に偏り(全国の多様な施設を含んでいない)がある。したがって、ここではそれぞれの問題点をできるだけ打ち消し、できる限り全体像を反映させる意味で、両者のデータを合わせて、5年生存率を算出した。その結果、5年生存率は36.2%(中間年2001年)となった(表-3)。

(表-13) 食道癌の初発・全生存患者数の弊社推計推移

年	死亡者数 (原本) ¹⁾ (単位:人)	A 死亡者数(最 小自乗法) ²⁾ (単位:人)	B 初発患者数 (推計基礎値 2001 年) (単位:人)	C 全生存患者数 (推計基礎値 2001 年) (単位:人) ³⁾	D 全生存患者数(定積分) (推計基礎値 2001 年) (単位:人)
2001	10,677	10,697	16,735	49,301	43,963
2002	10,739	10,835	16,950	49,934	44,528
2003	11,048	10,972	17,165	50,568	45,092
2004	11,172	11,110	17,380	51,201	45,657
2005	11,182	11,247	17,595	51,834	46,222
2006	11,345	11,385	17,810	52,467	46,786
2007	11,669	11,522	18,025	53,101	47,351
2008	11,746	11,659	18,240	53,734	47,916
2009	11,713	11,797	18,455	54,367	48,480
2010	11,867	11,934	18,670	55,000	49,044
2011		12,072	18,885	55,633	49,608
2012		12,209	19,100	56,266	50,172
2013		12,346	19,315	56,900	50,736
2014		12,483	19,530	57,533	51,300
2015		12,620	19,745	58,166	51,864
2016		12,757	19,960	58,800	52,428
2017		12,894	20,175	59,433	52,992
2018		13,031	20,390	60,066	53,556
2019		13,168	20,605	60,700	54,120
2020		13,305	20,820	61,333	54,684

1)死亡者数は人口動態統計に記載されている数値(単位:人)

2)2001年～2010年までの数値に基づいて最小自乗法の一次式($y = ax + b$)により各年の死亡者数を求めた(単位:人)

3)弊社で算出した2001年の食道癌患者数を死亡者数の増減率にあてはめて、各年毎に食道癌患者数を求めた。初発患者数についても同様の方法により求めた。